



さくら

《教育目標》
みらいにはばたく さくらの子
おもいあい まなびあい きたえあい

素直な心は成長を促す

校長

5月29日(日)運動会を行いました。土曜日は雨のため1日延期。日曜日は晴天の下、子どもたちの大活躍を見ることができました。本当に楽しいひとときでした。また、朝早くから多くの保護者の皆様から会場準備をお手伝いいただきました。加えて、後片付けも多くの保護者の皆様からお手伝いいただきました。子どもたちへの応援を含め心より感謝申し上げます。



当校の子どもたちは本当に素直な子どもたちです。

しかし、それは、保護者の皆様が素直だから、と感じています。

先日、ある著名な教員の講演を聞きました。その際、池江璃花子さんの母、池江美由紀さんのお話を引用して次のようにお話になりました。

「お母さんの素直さが、子どもの素直さにつながる」

「親が子どもの見本となる振る舞いをする」

この話を聞いたとき、先程記したことを思い浮かべたのです。

また、先述の著名な教員は、次のようにもお話になりました。

「私は、これまで見てきた子どもたちから、成長する条件を次のように考えています。素直さと丁寧さ。そして、責任転嫁しないこと。」

ここにもやはり、素直さが登場します。

確かに、人の話を聞き、素直に受け止めることが大切であることは誰もが思うことです。私自身もこれまで先輩、知人、子どもから教えていただいたことを今でも実行しています。

当校の子どもたちは、人の話をよく聞きます。受け入れてくれます。そのことが個々の成長につながっていることは確信しています。しかし、時々素直に話を聞き入れない場面を見ることもあります。それは、背景に何かがあるときです。怒っていて落ち着いて話が聞けない。本当は分かっているけど認めたくない。「○○」って言われたからとても嫌だったので素直になれない。こんな時、当校の職員は、できるだけしばらく時間を置いてから話を聞くようにしています。その時間で本人も落ち着いてきます。落ち着けば素直に話を聞いています。

ご家庭でも、落ち着くまでの時間を大切にされているのでしょうか。だから、素直な子どもたちに成長しています。感謝申し上げます。